

NEWSLETTER No.104 TOYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ  
ISSN 1340-5578 The Society for Research in Asiatic Music September 20, 2018

一般社団法人  
東洋音楽学会

会報 第104号

発行 一般社団法人東洋音楽学会  
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152  
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://tog.a.la9.jp

## 目次

第7回定時社員総会のお知らせ……………1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ……………4
総会への出席と「書面議決書」または 「委任状」提出のお願い……………2	東日本支部からのお知らせ……………5
第69回大会のご案内……………2	沖縄支部からのお知らせ……………5
第36回田邊尚雄アンケートのお願い……………3	純正調オルガンワークショップのお知らせ……………5
国際音楽学会東京大会記念基金 「音楽学研究発表奨励金」の募集について……………3	会員異動……………6
会費納入のお願いと割引制度のお知らせ……………3	図書・資料等の受贈……………6
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ……………4	新刊書籍……………7
	新発売視聴覚資料……………8
	編集後記……………8

## 第7回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位  
一般社団法人東洋音楽学会 会長 遠藤徹

### 第7回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第7回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

### 記

日時 2018年11月10日(土)17時40分～18時20分  
場所 大正大学巣鴨キャンパス7号館1階711教室

### 審議事項

- 第1号議案 役員選任の件
- 第2号議案 2017年度事業報告の件
- 第3号議案 2017年度収支決算の件

- 第4号議案 2018年8月31日貸借対照表および正味財産増減計算書の件
- 第5号議案 2018年8月31日現在会員異動状況の件
- 第6号議案 その他

### 報告事項

- ・2018年度事業計画の件
- ・2018年度収支予算の件
- ・公益目的支出計画の実施状況について
- ・その他
- ペイパルによる会費納入について

- ・総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いします。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書または委任状提出のお願い」をご熟読ください。
- ・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

## 総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

正会員のみならず、総会の成立には正会員の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。

総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。やむを得ず総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。

### ①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10月中旬に学会のホームページに掲載されます。担当理事から、10月中旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決権を行使する場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。配信先は、学会に届けてある(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した方は至急学会事務所まで新しいメールアドレスをお知らせください。

インターネットを使わない正会員の方で、書面議決書の提出を希望される方は、学会事務所にご相談ください。

### ②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄を選択の上、代理人の氏名をご記入下さい。代理人は総会に出席する正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います。

総会欠席の場合には「書面議決書」か「委任状」のいずれかを提出ください。総会成立のためにご協力くださるようお願いいたします。

## 第69回大会のご案内

東洋音楽学会第69回大会を、大正大学巣鴨キャンパスにて、同封のプログラムの通り開催いたします。多くの会員のご参加をお待ちしております。

今大会テーマ「音楽をつたえること・つなぐこと」のもとに、第1日(11月10日)は「大学における僧侶養成一法儀・作法・声明」と題して、特別企画、公開演奏会および公開講演会演奏会を行います。

まず、特別企画「菊まつり特別法要」は、学生の学習成果の実践として、毎月すがも鴨台観音堂(通称「さぎえ堂」)で

行われる法要を本大会のために別途実施するものです。公開講演会は会場を711教室に移し、まず公演「声明の実演一天台(大原流)と真言(豊山派)」では末廣正栄・新井弘賢両氏の指導による大正大学学生・卒業生の両宗合同の法要を通して声明の学習内容と成果を示し、講演「大正大学の宗門子弟に対する法儀教育について一天台宗の場合を中心に一」では塩入法道氏に大学の指導体制およびカリキュラム等についてご講演いただきます。最後に、以上のお三方に特別法要を担う間正晃也氏が加わり、意見交換を行います。僧侶育成には音楽の伝承や音楽教育と共通する問題がありますので、フロアの皆様の活発な議論へのご参加をお待ちしております。

第2日(11月11日)では個人研究、セッション等28件の研究発表を3会場にて行います。研究内容も多様化し、最新の研究成果に基づく大変充実した議論が期待されます。

### ◎出欠の回答

同封の返信ハガキの各欄にもれなくご記入の上、10月20日(土)必着でご返送ください。大会にご欠席の場合も、正会員は、総会の議決権に関する事項を返信ハガキの表面下欄に記入の上、必ずご返送ください。

また本学会HPからも出欠を回答できます。HPの「大会案内」内の「大会出欠回答」フォームを利用して、10月20日(土)24時までに入力してください。やむなく定時社員総会に欠席し委任状を提出する場合のみ、返信ハガキに記名捺印の上、10月20日(土)必着でご返送ください。

### ◎大会参加費、懇親会費、弁当代の納入

同封の払込用紙にて、またはネットバンキング、銀行振込などで、10月31日(水)までにご入金ください。この日までにご入金された方については、以下の「事前支払」の金額となります。当日受付でお支払いの場合には、金額が異なりますので、ご注意ください。

参加費 正会員 事前支払 2,500円 当日支払 3,000円  
正会員のうち大学院生\*と学生会員  
事前支払 1,000円 当日支払 1,500円  
非会員(第2日のみ) 資料代 1,000円

懇親会費 正会員 5,000円  
正会員のうち大学院生\*と学生会員 2,500円

\*「大学院生」は修士課程・博士課程・研究生在籍者

弁当代(第2日) 1,000円(お茶付き)

\*同封の払込用紙は大会専用です。学会費の納入にはご使用にならないようお願いいたします。

\*期日を過ぎて入金された方は、必ず受領証をご持参いただき、当日受付にてご提示ください。

\*大会第2日のお弁当(お茶付き)は、同封の返信ハガキにてご注文の上、期日までに払込用紙にて代金をお支払いいただいた方のみにご用意いたします。期日を過ぎて入金された場合、ご用意することができませんので、あらかじめご了承ください。なお、会場付近にはコンビニや喫茶店等もありますので、ご利用できます。

\*プログラムの再配布はいたしません。当日は同封のプログラムを忘れずにご持参ください。忘れた方で、当日必要な場合は500円で販売いたします。

## 第36回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

第36回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせください。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

**選考対象:** 2018(平成30)年1月1日~12月31日の発行物

**受付期間:** 随時。締切は2019(平成31)年2月上旬(予定)。

**記入事項:** 著者名、書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

**送付先:** 東洋音楽学会 第36回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3

三春ビル307号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員: 梶丸岳、寺田吉孝、近藤静乃、配川美加、

前原恵美

## 国際音楽学会東京大会記念基金 「音楽学研究発表奨励金」の募集について

国際音楽学会東京大会記念基金(2018年6月設立)より、「音楽学研究発表奨励金」募集のお知らせが届いております。本基金は、日本における音楽学の国際化に資するため、若手研究者が海外に出かけて行う研究発表を支援するための制度です。2018年度より10年間を目処に、毎年総額60万円程度(選考に伴う諸経費を含む)が研究発表支援に充てられる

予定です。

### 【対象となる研究発表】

日本国外で催される学会・研究会等において、日本語以外の言語で行われる音楽学分野の研究発表。2019年6月までに開催される催しを対象とします。

### 【有資格者】

日本国内居住者の音楽学研究者で、日本国内の音楽学学術団体に所属する者、かつ発表時に常勤ポストを持たない者。

### 【募集人数】 若干名

### 【募集期間】

第1回: 募集終了

第2回: 2018年8月1日(水)~10月31日(水)

第3回: 2018年11月1日(木)~2019年1月28日(金)

詳細は下記のホームページで確認してください。

国際音楽学会東京大会記念基金

<http://www.musicology-2017-fund.org>

## 会費納入のお願いと割引制度のお知らせ

### 1. 会費納入のお願い

2018年9月から新しい年度(2018年度)が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払くださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員: 8,000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者: 6,000円

### ○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

### ○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九(ゼロイチキュー)店(019)

[当座] 0055723

### ○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル(PayPal)によるオンライン決済で会費が納入できるようになりました。学会ウェブサイトのトップページ(<http://tog.a.la9.jp/>)の「入会方法はこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。

す。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開くと送金できます(アカウント開設費無料)。なお、オンライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下のようになります。

正会員：8,350円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6,280円

## 2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生(博士課程・修士課程)・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ(<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>)でご確認の上、お申し込みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち8月31日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

## 3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

## 4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

## 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第84号(2019年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は、機関誌編集委員会において改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ず行ってください)。分量の限度が守られない投稿がしばしば見受けられます。ご注意ください。

送付先：〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3  
三春ビル307号

一般社団法人東洋音楽学会 事務局内  
東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法：プリントアウトした原稿を郵送してください。

ただし、書留郵便にはしないでください。直接持参、メール添付は受け付けておりません。

締め切り：2018年12月10日(月)必着

## ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

### 1. 第45回 ICTM 世界大会のお知らせ

日時：2019年7月11日～17日

場所：Chulalongkorn University

(チュラロンコン大学、タイ、バンコク)

テーマ

1. Transborder Flows and Movements.
2. Music, Dance and Sustainable Development
3. The Globalization and Localization of Ethnomusicology and Ethnochoreology
4. Music and Dance as Language
5. Approaches to Practice-Based Research
6. New Research

発表の形態

1. 個人発表(発表20分、質疑応答10分)

2. パネル

① 90分：発表者3名

(各人20分の発表+10分の質疑応答)

② 120分：発表者4名、または発表者3名+討議者

3. フィルム/ビデオ・セッション

(制作者本人によるもの、上映+全体討論)

4. フォーラム/ラウンドテーブル

(2時間以内、4~5名、各15分の発表+全体討論)

\*会員一名につき、発表申し込みは1件しかできません。

## 発表申し込み方法

300語以内(英語)の要旨を下記のリンクから提出

<https://ictmusic.org/ictm2019/submit>

発表申し込み締切: 2018年9月30日

発表可否の通知: 2018年12月31日

発表申し込みの詳細は、2018年4月発行の会報(Bulletin of the ICTM)、7~9頁をご覧ください。会報は現在オンライン化されており、

<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm>にて最新号をダウンロードできます。

## 2. 第29回小泉文夫音楽賞 薦田治子氏・フィリップ・V・ポールマン氏受賞の報告

会員の薦田治子氏が、平家(平曲)の音楽学的解明と若手演奏家の育成を通じた平家の活性化に対して、またフィリップ・V・ポールマン氏が、世界音楽に対する多様な研究方法と視点を通じて音楽民族学に貢献したことに対して、第29回小泉文夫音楽賞を受賞されました。2018年4月発行の会報(Bulletin of the ICTM)に、日本国内委員会からのお知らせ(Reports from ICTM National and Regional Representatives)として、この受賞が報告されています(13頁)。

ICTMの会報は現在オンライン化されており、<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm>にて最新号をダウンロードできます。また、会報のバックナンバーの閲覧も可能です。

## 東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集(2月例会)について

東日本支部では、2019年2月2日の定例研究会での研究発表を募集しています。

発表をご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、11月20日までに、東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望をご提出後1週間経過しても事務局からの連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

〔東日本支部事務局〕

〒110-0005 台東区上野 3-6-3 三春ビル 307号

東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail: [tog.higashi@gmail.com](mailto:tog.higashi@gmail.com)

## 沖縄支部からのお知らせ

◇定例研究会について

これからの開催については、

第71回定例研究会 2019年2月

第72回定例研究会 2019年6月

を予定しています。発表希望者を随時受け付けております。

また、他支部会員の発表も歓迎致します。発表を希望される場合には、開催予定の4か月前までをめぐり、下記の沖縄支部事務局までご連絡ください。

沖縄支部事務局:

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

沖縄県立芸術大学音楽学部

東洋音楽学会沖縄支部長 小西潤子 宛

電話・FAX: 098-882-5016

電子メール: [konisij@okigei.ac.jp](mailto:konisij@okigei.ac.jp) (小西潤子)

定例研究会の詳しい内容は、決まり次第、学会ホームページに掲載します。また、学会員以外の方々も聴講可能ですので、奮ってご参加ください。

## 純正調オルガンワークショップのお知らせ

日時: 2018年9月29日(土) 14時~16時

会場: 国立音楽大学 6号館 113教室(予定)

講師: 田中 佐(田中正平 令孫)、

Daniel Walden (ハーヴァード大学博士課程)

内容: 田中佐氏による解説「純正調オルガンと田中正平」

ダニエル・ウォルデン氏によるデモンストレーション演奏

**対象楽器:**

田中正平考案 純正調オルガン 1936年日本楽器製造

**使用言語:** 日本語および英語 (通訳なし)

**募集人数:** 若干名 (先着順)

**申込方法:**

国立音楽大学 楽器学資料館のHPより「申し込みフォーム」にアクセスの上、ご所属、お名前、電話番号、メールアドレスをご記入の上送信してください。申し込み多数となり次第、フォームは締め切ります。【楽器学資料館】で検索、もしくは、<http://www.gs.kunitachi.ac.jp/ja/>

**申込み開始:** 2018年9月12日(水) 正午

◇学生会員から正会員へ  
澤田聖也、清水淑子

**お問い合わせ:** 国立音楽大学 楽器学資料館

東京都立川市柏町5-5-1

電話 042-535-9574

◇退会者扱い者(会報第103号掲載)の変更  
孟繁杰: 正会員継続

**対応時間:** 平日9時~17時

夏季休暇期間8月6日~16日を除く

◇退会者

〈特別会員〉

上野学園図書館

〈正会員〉

泉健、五十川晋一、大橋力、勝野明子、新堀敏乃、  
田鍬智志、武鐘夏美、寺本圭佑、照喜名朝一、  
長瀬淑子、村田枝里子、畠山美佳子、渡邊きみ子

◇逝去者(謹んでご冥福をお祈りいたします)

〈正会員〉

小林貢(2018年5月22日)

**会員異動**

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはE-mail等でも結構です)

「個人情報につき削除」

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

**図書・資料等の受贈**

(2018年5月~7月、到着順)

『演劇映像』第59号

早稲田大学演劇映像学会

『平安朝龍笛要録』

長谷川景光 平安楽舎雅楽研究所

『民俗芸能研究』第64号

民俗芸能学会

*Indonesian Cross-Gender Dancer Didik Nini Thowok*

(DVD付) 福岡まどか 大阪大学出版会  
『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書2017年度  
「常磐津節演奏者名鑑 第7巻」(近代5:明治期から昭和期  
まで(下))』 竹内有一編著 常磐津節保存会  
『楽道』5,6,7月号 (公財)正派邦楽会  
『阪大音楽学報』第15号 大阪大学音楽学研究室  
『雅楽だより』第54号 雅楽協議会  
『東方學會報』No.114 (一財)東方学会

三井徹、NTT出版、4,600円

『想起の音楽—表現・記憶・コミュニティ』

アサダワタル、水曜社、2,200円

『ソナタ形式の修辞学—古典派の音楽形式論』

マーク・エヴァン・ボンズ、土田英三郎訳、音楽之友社、  
4,600円

『空をみますか…8—歴史を見る、音楽をする』

池辺晋一郎、新日本出版社、2,000円

『武満徹の電子音楽』

川崎弘二、アルテスパブリッシング、12,000円

『團伊玖磨—芸術と教養を旅した求道者』

原伸夫・新3人の会(著)、團紀彦(監修)、

ヤマハミュージックメディア、1,800円

『誕生から古代・中世の音楽—音楽のあゆみと音の不思議』

小村公次、大月書店、3,000円

『東南アジアのポピュラーカルチャー—アイデンティティ

・国家・グローバル化』

福岡まどか・福岡正太(編著)、井上さゆり・他(著)、

スタイルノート、4,000円

『夏目漱石とクラシック音楽』

瀧井敬子、毎日新聞出版、2,500円

『日本の印刷楽譜—室町時代篇』

福島和夫・他(著)、上野学園大学日本音楽史研究所(編)、

勉誠出版、15,000円

『日本民謡事典 I 北海道・東北』

竹内勉(編著)、朝倉書店、8,000円

『ハインリヒ・シェンカーの音楽思想—楽曲分析を超えて』

西田紘子、九州大学出版会、4,600円

『バルトーク音楽論選(ちくま学芸文庫)』

ベーラ・バルトーク、伊東信宏・太田峰夫訳、筑摩書房、

1,200円

『パリのサロンと音楽家たち—19世紀の社交界への誘い』

上田泰史、カワイ出版、2,400円

『フランスの歌いつがれる子ども歌(阪大リール)』

石澤小枝子・高岡厚子・竹田順子(著)、大阪大学出版会、

1,800円

『ブルックナー研究』

レオポルト・ノヴァーク、樋口隆一訳、音楽之友社、

2,750円

『文化政策の現在=Cultural Policy Studies 2』

小林真理(編)、東京大学出版会、3,800円

『ヘンデルが駆け抜けた時代—政治・外交・音楽ビジネス』

三ヶ尻正、春秋社、2,100円

『マイクログス(音楽小論)—全訳と解説』

グイド・ダレッツォ、中世ルネサンス音楽史研究会訳、

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)、価格(税別)

『アジア「歌垣」論—附・中国雲南省白族の歌掛け資料』

岡部隆志、三弥井書店、9,000円

『アドルノという「社会学者」—社会の分光と散乱する思想』

片上平二郎、晃洋書房、3,200円

『音楽言語の技法』

オリヴィエ・メシアン、細野孝興訳、ヤマハミュージック

エンタテインメントホールディングス出版部、7,000円

『音』上田修・他、ミッションプレス、ミッションサポート

(発売)、800円

『音楽の科学—音楽の何に魅せられるのか?』

フィリップ・ボール、夏目大訳、河出書房新社、3,800円

『音楽ノート』

ヴィルヘルム・フルトヴェングラー、芦津丈夫訳、白水社、

3,700円

『神田祭の都市祝祭論—戦後地域社会の変容と都市祭り』

秋野淳一、岩田書院、13,800円

『絆の音楽性—つながりの基盤を求めて』

スティーヴン・マロック;コルウィン・トレヴァーセン編、

根ヶ山光一・今川恭子・他監訳、音楽之友社、16,000円

『クラシック音楽持論・抗論・極論—音楽の起源~音楽は  
何のためにあるのか~』

藤原敬、風詠社、星雲社、1,200円

『クラシック音楽とアマチュア—W・W・コベットとたど  
る二十世紀初頭の音楽界』

西阪多恵子、青弓社、2,400円

『唱歌の社会史—なつかしさとあやうさと』

伊藤公雄・河津聖恵・他(著)、中村純(編集協力)、

メディアアイランド、2,000円

『戦時の音楽』

レベッカ・マカーイ、藤井光訳、新潮社、2,000円

『戦後洋楽ポピュラー史—1945-1975:資料が語る受容熱』

春秋社、4,800円

『南インドの芸能的儀礼をめぐる民族誌—生成する神話と儀礼』 古賀万由里、明石書店、4,800円

『未来の人材は「音楽」で育てる—世界をひらく5つのリベラルアーツ・マインド』

菅野恵理子、アルテスパブリッシング、1,800円

『八橋検校十三の謎—近世箏曲を生んだ盲目の天才(新版)』 釣谷真弓、アルテスパブリッシング、2,000円  
『謡曲『石橋』の総合的研究』

雨宮久美、勉誠出版、6,400円

『ワーグナーシュンポシオン2018—特集ワーグナーの呪縛(2)』

日本ワーグナー協会(編)、アルテスパブリッシング、2,900円

『和と出会う本—現代を生きる芸能・工芸・建築・祈り』 小野幸恵、アルテスパブリッシング、2,000円

## 新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

### ●CD

『海の民謡』原田直之・他、COCJ-40324-5、2,500円

『吟詠の友(34)平成29年度—日本コロムビア全国吟詠コンクール優秀者—模範吟・伴奏付』

尺八：磯牧山、箏：高橋はるな(1~17)、国重歌純(18~23)、COCJ-40368、2,389円

『四季の民謡—春夏編—』

浅利みき・他、COCJ-40320-1、2,500円

『四季の民謡—秋冬編—』

斎藤京子・他、COCJ-40322-3、2,500円

『箏 日本の抒情—さくらさくら・もみじ—』

米川敏子・沢井忠夫・他、CORR-11306(オンデマンドCD)、2,381円

『箏・三弦 古典／現代名曲集(28)—平成三十年、三十一年度正派邦楽会准師範試験課題曲集』

中島靖子・他、VZCG-817、3,000円

『笛 日本の抒情—砂山・夏の思い出—』

藤舎推峰、山屋清、CORR-11307(オンデマンドCD)、2,381円

『ほととぎす—和泉式部—／兜』

高富淳蔭心、COCA-17464、1,204円

『水引 平成三十年(第五十四回)日本コロムビア全国吟詠コンクール課題吟CD』日本コロムビア吟詠音楽会選定、

COCJ-40254、2,778円

### ●DVD

『第二十一回日本伝統文化振興財団賞 [菊央雄司] (地歌箏曲・平家)』 菊央雄司・他 VZBG-58、3,500円

## 編集後記

会報第104号をお届けします。9月発行の今号は例年、研究大会のご案内と定時社員総会関連のお知らせが中心となります。今回より本学会HPからも出欠が回答できるようになりましたので、会報と本学会HP、そして同封の大会プログラムをご熟読いただき、是非ともご参加ください。また学会運営に必須な総会の成立にもご協力をくださいますよう、お願い申し上げます。

なお、今号には国際音楽学会東京大会記念基金「音楽学研究発表奨励金」の募集や会費等のオンライン決済についてもご案内しておりますので、どうぞご一読ください。

それでは大会で皆様と活発な交流ができることを心待ちにしております。

澤田篤子

会報編集委員会

理事：澤田篤子、増野亜子

委員：山下正美

参事：神野知恵、土田まどか、中川優子、松本民菜、安原道子、横山洸